

【基本施策】

4. 健全な森林をつくる

【基本方針】

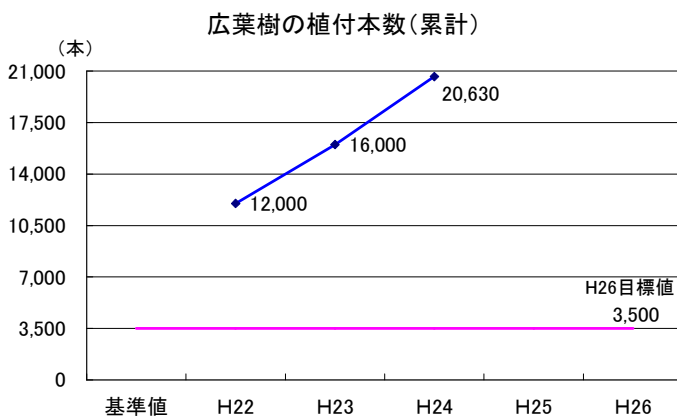
森林の持つ環境保全や木材供給の能力、人と野生動物とのかかわりを正しく理解することが、林業者だけでなく広く市民にも求められています。このため、森林資源を活かした体験学習やワークショップ、鳥獣害対策の講習会等を行い、森林整備の大切さの認識を高めるとともに、地域ぐるみでの鳥獣害対策を推進します。

また、間伐材を用いた商品開発を推進し、林業の収益向上に努めるとともに、間伐作業への支援や林道の整備・広葉樹のある森づくりを推進し、森林の適正な保全を行い、環境保全と治山能力の強化を図ります。

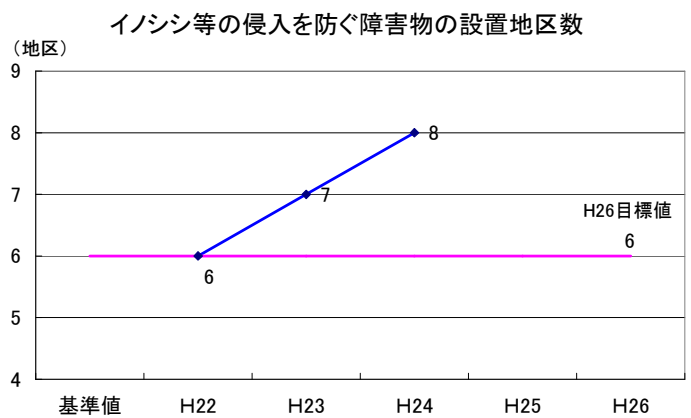
【実施施策】

◇森林の整備・保全 ◇治山対策の強化 ◇鳥獣害対策の充実

【施策成果指標】



森林の整備・保全を図るための指標として、本市の森林等へ新たに 3,500 本の広葉樹を根付けします。



鳥獣害対策の充実を図るための指標として、山際を除間伐し、イノシシ等の進入を防ぐ障害物を 6 地区に設置します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況												
	実施施策	H24 ランク				H26 方向性							
		A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
健全な森林をつくる	11	0	1	12	0	0	0	12	0	0	0	12	
森林の整備・保全	7	0	0	7	0	0	0	7	0	0	0	7	
治山対策の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥獣害対策の充実	4	0	1	5	0	0	0	5	0	0	0	5	

これまでの取組み成果

森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源の涵養など多面的機能を有しており、私たちの生活に深くかかわっていることから、これまで、小学生をはじめ市民と連携して、植栽事業に取り組むなど、里山保全を目標に幅広い環境保全に努めた。また、里山を適正に監視するため、「鯖江市森林・里山保全条例」を制定した。

さらに、鳥獣被害対策として、山ぎわの農地、農作物への被害防止、地域住民の安全・安心を確保するために、電気柵等の整備、隠れ家となる山ぎわ等の整備および効果的な捕獲に努めた。また、地域の獣害対策リーダー育成、情報の共有等を図った。

今後の課題

市民意識としては、森林の大切さを認識してきているが、実際の取り組みとなると参加への関心がまだ低い現状である。

また、市民と市が協働して「鳥獣害のないふるさとづくり」を実現するために、市民、市民団体、事業者、専門家、行政が取り組むべきことを明らかにすることで、市民主役で取り組む地域ぐるみの鳥獣被害対策の必要性を周知することが必要である。

今後の施策展開

健全な森林をつくるための取り組み情報の発信と里山を適正に監視するために制定した「鯖江市森林・里山保全条例」の周知啓発に努めるなど、取り組み事業への関心を深める。

また、鳥獣害に対しては、被害対策の啓発、取組情報の発信、地域でのリーダー育成および組織化や山ぎわに整備されている緩衝帯、電気柵の適正な維持補修に向けた支援を行うことで、地域住民の安全・安心の確保、山ぎわ農地の保全および農産物の被害防止に努める。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A〉